

あとから来る者のために
坂村 真民

あとから来る者のために
田畑を耕し
種を用意しておくのだ
山を
川を
海を
きれいにしておくのだ
ああ
あとから来る者のために
苦勞をし
我慢をし
みなそれぞれ力を傾けるのだ
あとからあとから続いてくる
あの可愛い者たちのために
みなそれぞれ自分にできる
なにかをしてゆくのだ

U-net通信 2016年1月 Vol.88

発行:地球環境・共生ネットワーク 〒105-0014 東京都港区芝2丁目6番3号三宅ビル4F TEL:03-5427-2348 FAX:03-5427-5890 http://www.unet.or.jp 編集人:大山正治/ 発行人:比嘉照夫



EMによる国づくり

謹んで新年のご挨拶を申し上げます

理事長 比嘉照夫

昨年平成27年はEM活動の総括的な年となり、福島放射能汚染対策は完璧と言えるレベルに達し、東京湾はどこでも泳げるようになり、また各地域からもEMの社会化の成果が多数寄せられました。これも、ひとえに会員をはじめ皆様のたゆまざる真のボランティア活動のたまものであり、改めて感謝を申し上げます。

U-ネットの創設理念は「見返りを求めない真のボランティアが世の中を変える」であり、その行動指針は坂村真民の詩「あとから来る者のために」です。福島放射能対策を中心に、環境問題のすべてに対応できるEM技術のドキュメンタリー映画「蘇生」の締めくくりにも「あとから来る者のために」が感動的に語られています。

ボランティアの本質は、当事者の資質を高めることによって、はじめて実現します。本当に困った問題の解決を、見返りなく解決するためには、困っている相手の立場に立った上で格段の知恵と勇気が求められます。このような実践こそが人間力を向上させ、世の中を善循環的な仕組みにする原動力となり、人生を充実させ納得する道筋と言えるものです。



EM技術の社会化

昨年は映画「蘇生」の劇場公開によって、多数の人々がEMを知るようになりました。また、これまでもEMの社会化に取り組んでいる関係者に対して、更なる踏み込んだ情報を提供することが出来ました。今年も機会あるごとに映画「蘇生」を積極的に活用し、関係者の資質向上に取り組み、種々の社会的モデルを充実させる活動を強化していきます。

EMによる水環境の飛躍的改善

平成27年は、東京湾浄化達成の年となりました。今では東京湾は、どこでもきれいで泳げるようになり、江戸前の漁業は完全に復活しています。今後は、海の日活動を更に強化するとともに、長野県の諏訪湖と岡山県の児島湖の浄化プロジェクトを強化し、更に効率的な浄化法を確立し、東京湾や三河湾とともに世界的なモデルにしたいと考えています。

EMによる放射能対策

映画「蘇生」でも明らかのように、EMによる放射能対策は確たるものになりました。ベラルーシの国立放射線生物学研究所の再実験でも、EMによる放射能の消失が再確認されました。また、EM研究機構の実験でも同様な結果が得られています。

この実験法には、否定的な見解が入る余地はありません。EMを活用しているモデル事業団体は昨年の47から50に増え、新たに希望しているグループも増大しています。今年、その成果を更に広げ、福島を「うつくしまEMパラダイス」にするという公約を実現する活動を強化します。

その他、様々な深刻な社会問題に対しても、より積極的に取り組んでいくことにしています。今年も会員の皆様方が楽しくEM力を向上させ、嬉しい年になることを期待しています。



平成 28 年度 U-ネット 主要年間行事計画

| 開催日 | 行 事 名 |
|------------|-------------------------------|
| 2月 27日(土) | U-ネット総会(東京) |
| 3月 18日(金) | 世話人特別講座(関東甲信越地区) |
| 19日(土) | 善循環の輪の集い(山梨) |
| 6月 18日(土) | 善循環の輪の集い(愛知) EMフェスタ in 愛知 |
| 19日(日) | 世話人特別講座(東海・北陸地区) |
| 7月 18日(月) | 全国一斉 EM 投入 |
| 23日(土) | 善循環の輪の集い(山口) |
| 8月 20日(土) | 善循環の輪の集い(宮崎) |
| 9月 3日(土) | 善循環の輪の集い(山形) |
| 4日(日) | 世話人特別講座(北海道東北地区) |
| 5日(月) | EM 農法勉強会(宮城) |
| 24日(土) | 善循環の輪の集い(新潟) |
| 10月 15日(土) | 善循環の輪の集い(高知) 四国 EM フェスタ |
| 16日(日) | 世話人特別講座(四国地区) |
| 22日(土) | 善循環の輪の集い(大阪) EM フェスタ in 大阪 |
| 23日(日) | 世話人特別講座(近畿・中国地区) |
| 11月 5日(土) | 善循環の輪の集い(長崎) |
| 6日(日) | 世話人特別講座(九州・沖縄地区) |
| 26日(土) | 第 6 回復興支援 環境フォーラム (福島) |



平成 27 年度臨時総会を 開催し、定款変更案ほか を可決

特定非営利活動法人地球環境共生ネットワークの平成 27 年度臨時総会を 12 月 8 日(火)、東京港区の U-ネット事務所で開催した。会員 188 名が出席(委任状 181 名)し、現在、仮認定を受けている認定 NPO 法人の本認定に向けて 2 議案を可決した。

| 議案 | | 採決 |
|---------|-------------------|----|
| 第 1 号議案 | 平成 28 年度年会費変更について | 可決 |
| 第 2 号議案 | 定款変更について | 可決 |



information 事務局スタッフの紹介

謹んで新年のお慶びを申し上げます。
昨年末に新しく針生圭吉、大畑典子が事務局に
加わりました！
今年も全国の皆様とともに地球の「蘇生」にむけ
て EM 活動推進に邁進いたします！
本年もよろしく願いいたします。



▲ 左から、針生、大畑、仲嶺事務局長、会田

i n f o r m a t i o n

事務局からのお知らせ

■今後の主要行事のご案内■

■ U-ネット年次通常総会

日時 日時: 2月 27日(土) 13:30 ~ 17:40 (終了後交流会)

会場 友愛会館 9F 会議室

〒 105-0014 東京都港区芝 2-20-12 03-3453-5381

有用微生物群(EM)の力を借りる謙虚で地道な活動に光

～ EM ネットワーク山梨の活躍 ～

取材／杉山

武田神社の堀の浄化

甲府市

武田神社は山梨県甲府市の観光地の一つで、2015年のノーベル賞受賞者の大村 智氏が学んだ山梨大学からも近い。堀は長さ約300m(幅20m)にもなるもので、長年、アオコの発生や異臭に悩まされてきた。

U-ネット山梨県世話人の青木 のり子氏が、EMネットワーク山梨峡中(山村 丈夫会長)の皆さんと共に堀の浄化を始めたのは平成22年。水深約3m、堆積汚泥約2m、透視度20cm、COD10mg/lであった堀には、これまでにEM活性液60トン、EM団子38,000個を投下した結果、3年目にはさざ波が立ち始め、木陰が綺麗に映るようになり、カワセミを見かけるような堀に生き返って来た。比嘉先生の指導では“年4回EM団子を投入する”ことが望ましい、との事だったが、現状を維持しながらも、少しでも近づける様にしたいと言う。



▲EMネットワーク山梨峡中の皆さん(前列右から2人目が青木のり子さん)

境内には専用のEM培養装置(1トン)が常設され、EM活性液の常時供給体制が出来上がった。EMの力と惜しみないボランティアの活動が融合し、活動に弾みが付いて来ている。

また、EM団子作りや投入に合わせて、EM教室をその場で開く事も定着してきた。EMに関心を抱いてくれることを願って、地元住民や他府県からの観光客にもパンフレットを手渡して活動をアピールしている。堀の浄化活動はこれからも続く。

雪害被害から立直ったEMシイタケ栽培

白州町

EMネットワーク山梨峡北の中山 行雄氏がリタイア後に地元白州町で開始したEMによる米作、シイタケ栽培は、趣味ではなく営農目的で無農薬・無化学肥料の自然農法を取入れた本格的なものであった。作物は土壌の影響を大きく受ける為、土壌中に常在する微生物が食べられないような化学肥料は使わない、土壌活性を上げる微生物(EM)を多用する等の工夫をしたが、常にEM技術を磨くのに余念がない。



▲シイタケ栽培現場と中山行雄氏

しかし、軌道に乗ったかに見えた2014年の大雪では、栽培フレームが倒壊し、栽培中のシイタケが壊滅的な被害を受けたが、白州道の駅に来る顧客や観光客の期

待に応じて再開させる事ができた。

とにかく「味が良くて、持ちが良い」シイタケを作る事を心掛けて来たそうだ。つまるところ品質第一なのだ。営農するには、これらに加え、「収量が多く、長期間収穫できる」事が重要で、その為にも定期的にEM活性液を散布し、環境整備と維持が不可欠と言う。

米作りでは第14回「米食味分析鑑定コンクール国際大会(2012)」で、特別優秀賞受賞の栄誉に輝き、「中山EM自然農法コシヒカリ」は地域のブランド米になっている。

大規模牛ふん堆肥化施設でのEM活用

南都留郡

富士が嶺バイオセンターは富士河口湖町が、富士が嶺地区の乳牛・肉牛飼育農家から出る糞尿処理をする為に、平成16年に竣工した施設である。処理能力は年間3万トンで、処理過程で発生する悪臭は、地域住民からの苦情を伴うものであった。試行錯誤の末にEMによる臭気抑制と早期発酵を目指す事となり、平成28年1月からの本格稼働を前に大規模なEM培養施設やEM散布装置を整備した。これにより悪臭苦情は軽減されると期待されている。

これとは別に酪農家と共同研究した牛舎内の敷料として、EM散布した破碎剪定枝敷料が極めて効果的と分かり、本格的に提供するようになった。1週間で交換した糞尿敷料は2週間以上も使用できるようになり、剪定残渣処理と併せ酪農家の労力低減にも繋がり、需要が拡大しそうだと言っている。

世界文化遺産に登録された富士山。この富士山の麓の富士が嶺での取組に加え、古くは富士山大沢崩れ対策にもEMは活躍しており、時代は変わってもEMは変わらない。要はEMを使いこなすのではなく、働いてもらう環境作りこそが全ての始まりだと気が付くかどうかで決まる。



▲峡南衛生組合のノウハウを活かし、新たな事業に取組むEMネットワーク山梨峡南の遠藤 稔氏

青木のり子さん(U-ネット山梨県世話人)の活動紹介

U-ネット山梨には世話人として青木のり子さん(甲府市)、同地区担当理事の鮫谷陸雄さん(笛吹市)がいる。U-ネット本部(東京)と密に連携を取りながら、地元のEMネットワーク山梨の活動を支援し、EM勉強会の講師、EM活性液や団子、石鹸作りや使い方の指導、等をする毎日。ゴミの分別回収を全国に先駆けて始めた経験や、生ごみの循環利用にも実績が活きる。

幸いにも後継者は育ちつつあるが、武田神社の堀浄化活動等を通じて広く仲間(会員)を募り、併せて次代に繋ぐ活動もしてゆきたいと語る。

EMによる被災地の着実な復興に前進を確信

福島と東京で復興支援 環境フォーラム「うつくしまEMパラダイス」を開催

取材／針生

東日本大震災の被災地福島県で、EMの活用により放射能汚染問題を解決し「うつくしまEMパラダイス」にしていこうと2012年から開催している復興支援 環境フォーラムが11月28日、福島市のコラッセふくしまで開催された。また29日には、復興支援 環境フォーラム「うつくしまEMパラダイス in 東京」を東京の笹川記念会館国際ホールで開催した。

EM取り組み団体が自信に満ちた報告

今回、EM活用モデル事業団体と東北を中心にEM実践者を対象におこなった福島の第4回環境フォーラムには、各地から19団体と個人100名が参加した。



▲取り組みを共有し合った福島会場

事例発表では、EMの継続活用による累積効果の変化について継続的に取り組んでいるモデル団体など6団体から報告された。

EM柴田農園(栃木県那須塩原市)、EMの微笑み(旧コズモファーム・田村市)、瀧澤牧場(南相馬市)からは放射線量が低下していること。2012年にEM活性液散布を開始し、2013年から実証田として米作に取り組んでいる馬場EM研究会(南相馬市)では、雑草対策と増収を目的に塩入EM液を使用して線量抑制が確認されたこと。市民活動で水浄化に取り組むエコ郡山(郡山市)。エコクラブだて(伊達市)からはEMによる地元の河川や沼浄化の取り組みが発表された。



▶700名が集った東京会場の模様

研究機関からも放射能汚染低減の報告が

東京港区の笹川記念会館でおこなわれた会場には、

特別協賛・協賛・後援など61の団体と個人700名近くが参加した。

内容は、今年公開の白鳥 哲監督作品「蘇生」の上映および講演、ベラルーシ国立科学アカデミーの研究発表、EM開発者の比嘉照夫教授の総括講演と続き、EMの技術が被災地の復興支援に有効であることを確認し、今後の復興支援の在り方について共に考えていく機会となった。

ベラルーシ国立科学アカデミーの研究発表では、EM散布による放射線量低下について、セシウム137の低下が実験でも認められていること、EM研究機構の報告でもEMによる放射能汚染低減化について、飯館村のブルーベリー農園や南相馬市、田村市での活用農地での低減が認められたことが報告された。

EMの更なる活用で福島にパラダイスを

比嘉教授は特別講演で、「福島で最初は13プロジェクトで始まったが、現在は50に増えたプロジェクトで、食料、環境など様々な課題に取り組まれており、これを地球全体、人類の共通財産にすること。EMはすべての解決策の基本であり、EMはあらゆる分野で応用される」と話され、「福島は再起できる」という確信に満ちたフォーラムとなった。

会場の参加者からも、「EMと放射能との関係、研究を聞くことができ、とてもよかった」、「初めて参加したが、有意義な



フォーラムだった」、「環境を良くすることが、後に続く未来の人のために絶対に必要ということがとても参考になった」など、好評の声が寄せられた。

*福島県でのこれまでの取り組みの詳細については「2015EM災害復興支援プロジェクト事例集」をご覧ください。